

博覧会における K P I（目標設定）について（案）

博覧会の開催に当たっては、メインエリア等における目標設定を行い、その達成を目指して事業を推進していく。

（※ 基準値：原則として、コロナ禍前の 3 年間（平成 29 年度、平成 30 年度、令和元年度）の平均値）

1. メインエリア（集客機能）への来場者数（令和 5 年度）

（1）高知県立牧野植物園 22 万人（基準値 154,900 人） （142%）

（2）佐川町（上町地区周辺） 10 万人（基準値 41,607 人） （240%）

※ 旧浜口家住宅と佐川地質館の合計値

（3）越知町（横倉山周辺） 14.3 万人（基準値 114,787 人） （125%）

※ 横倉山自然の森博物館、かわの駅おち、観光物産館おち駅の合計値

2. メインエリア（インフォメーション機能）への来場者数（令和 5 年度）

（1）こうち旅広場（とさてらす） 60 万人（基準値 500,649 人） （120%）

（2）桂浜公園 80 万人（基準値 615,696 人） （130%）

3. ガイドプログラムの利用者数等（令和 5 年度）

（1）主要ガイドプログラムの利用者数 4.2 万人（基準値 3.8 万人） （110%）

※ 主要プログラム：牧野博士ゆかりの地やエリア内で利用者の多いものから抽出

【参考】第 4 期産業振興計画（観光分野）において総合的に達成を目指す目標値
（令和 5 年）

県外観光客入込数 460 万人（令和元年 438 万人） （105%）

観光総消費額 1,288 億円（令和元年 1,096 億円） （117%）

4. 参考指標（サステナブルな要素等）

（1）草花ガイドの養成講座を受講した人数

（2）草花スポットに加え、食や歴史、自然を組み込んだガイドプランの造成数

※（1）（2）いずれも、今後継続的な取り組みを行うもの

（3）来県者のうち戦略ターゲット層（女性や若年層）の割合

※ メインエリアへの来県者の割合を位置情報データにより分析